BOSE®

OWNER'S MANUAL

505WB

この度はボーズ・アークティマス・スピーカーシステム505WBをお買い上げいただき、誠に有難うございます。本機を正しく、また性能を十分にいかしてお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。またこの説明書は、必要なときにすぐお読みになれるよう、保管されることをおすすめいたします。

特　長

●重低音再生を革新する3チャンバー・アクースティマス方式

3チャンバー・アクースティマス方式は、従来のアクースティマスをさらに進化させ、キャビネット内部を3つの部屋にするという内部構造を採用。この結果、それぞれの部屋の中の空気がコーン紙の運動をコントロールし、効率良くエネルギーを取り出します。

また、ウーファー・ユニットの背面のエネルギーを放出するポートを2本にし、ユニットからの距離を等しくすることで、2つのウーファー・ユニットのコーン紙にかかる圧力を均等化して、歪を低減しています。

●コンパクトなキャビネットから広い音場を再生するサテライト・スピーカー

中域から高域を再生するサテライト・スピーカーにはボーズ独自のステレオ・エプリウエア理論に基づき、サテライト・スピーカーに特定の角度を付け、音響エネルギーと方向をコントロールし非常に広いステレオ・リスニングエリアとシャープな定位を実現。

●自動復帰型保護回路

アクースティマス・ベースボックスには、安全限界を超えるような過大入力あるいは何らかの以上入力が連続して加えられますと、自動的に出力レベルを下げる保護回路が内蔵されています。この回路はまた、サテライト・スピーカーへの送り出し信号に対しても働くように設計されており、スピーカー・システムを保護します。

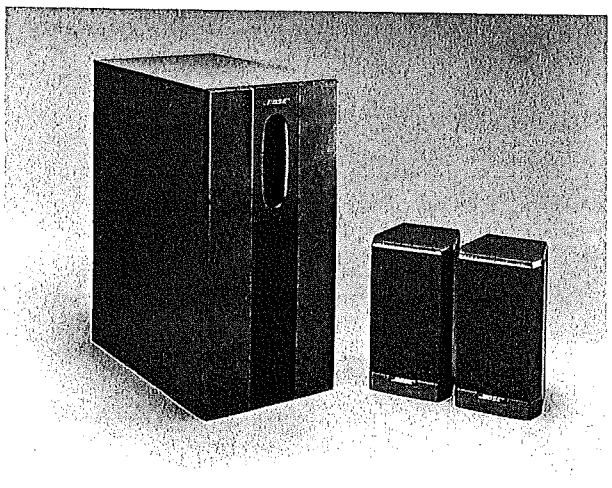
●金メッキ処理のスピーカーターミナル

効率の良い伝送を行うために、金メッキネジ込み式ターミナルを装備。太いスピーカーケーブルやデュアルバナナターミナルの接続が可能です。

●低磁束漏洩タイプ

キャンセリング・マグネット方式による低磁束漏洩タイプです。テレビに近接させても色ムラなどが起きにくく、AVスピーカーとしてもお使いいただけます。

505 WB 取扱説明書



ご使用になる前に 安全にお使いいただくためにこのページは必ずお読みください

設置上の注意

次のような場所には設置しないでください。性能の劣化、故障や感電事故の原因および火災の原因になります。

- ●直射日光の当たる場所。
- ●暖房器具の近くや空調の吹き出し口などの高温になる場所。または高温になる物の上。
- ●投光照明機などの発熱物の近くの場所。
- ●極端に寒い場所。
- ●湿気や水分のある場所、プール、浴室などの湿気の多い場所。
- ●屋外や直接水のかかるところ。
- ●潮風の直接当たるところ。
- ●風通しが悪く、ホコリの多い場所。
- ●振動や傾斜のある不安定な場所。
- ●石油化学製品（ビニール、ポリエステル、プラスチックなど）やゴム製品で巻いたり、被せたり、下に敷いたり直接触れないようにしてください。
- ●通常の生活環境と大きく異なる場所。

ケースを開けないで

- ●ケースを開けますと、故障や感電事故の原因になります。内部に触れることは絶対にしないでください。また、内部を改造じた場合の性能の劣化については保証いたしません。

内部に異物を落とさない

- ●内部に燃えやすいものや、ヘアピン、硬貨などの金属片などが入った場合、また、誤って水などの液体がかかった場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げいただいた販売店又は当社にご相談ください。そのままでご使用になりますと火災や故障および感電事故の原因になります。

シンナーなどで拭かないで

- ●製品は、ときどき柔らかい布でからぶきしてください。シンナー、ベンジン、化学薬品を使用すると表面が侵されたり文字が消えたり外装ムラになることがありますので絶対に使わないでください。また、スプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかからないようにご注意ください。

セットを移動するとき

- ●セットを移動するときは、接続しているコードや電源コードの断線やショートを防ぐため他の機器との接続コードを取り外し、電源プラグをコンセントから抜いて動かしてください。

他の機器と接続するとき

- ●他の機器と接続するときは、各機器の電源がOFFになっていることを確認してください。また、セットのボリュームを絞ってから行なってください。

落雷に対する注意

- ●落雷などのおそれがあるときは、コンセントから電源プラグを抜き取ってください。

無理な力は加えない

- ●スイッチやツマミには、無理な力を加えないでください。

音のエチケット

- ●音量は時や場所に応じて適度な大きさに調整してください。特に、静かな夜間は小さな音でも通りやすいものです。

スピーカーの防磁について

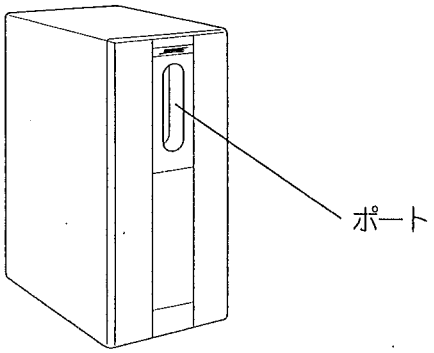
サテライト・スピーカー、アクースティマス・ベースボックス共に、シールド方式による低磁束漏洩になっています。通常のスピーカーは、テレビ（モニターなども含む）に近づけると、色ムラなど影響が生じる場合がありますが、このスピーカーシステムはテレビへの近接設置が可能です。ただし、設置のしかたによっては、画面に色ムラなど影響が生じる場合があります。その場合は、スピーカーをテレビ十分離し、一端テレビの電源を切り、15分から30分の間隔をあけてから再度電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって、正常な画面に戻ります。その後も、画面に影響が生じる場合には、スピーカーをテレビからさらに離してご使用ください。

開梱時のご注意

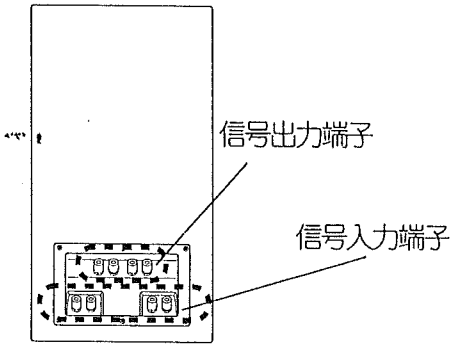
◆ 付属品を確認してください ◆

もし、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお買上になった販売店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。

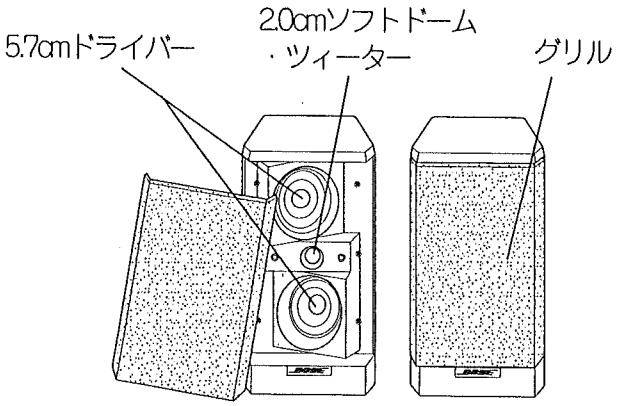
各部の名称



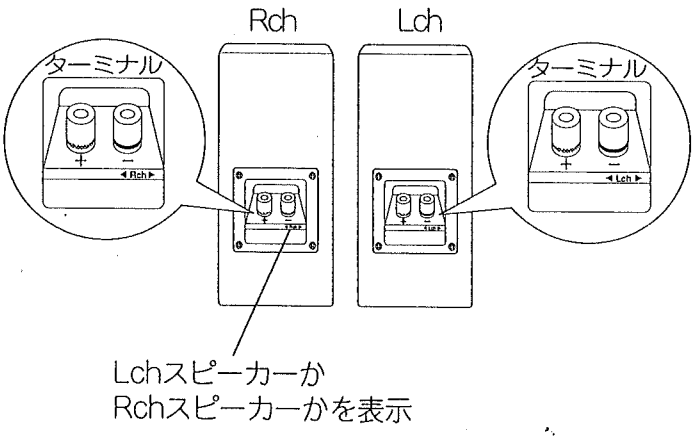
アクースティマス・ベースボックス



アクースティマス・ベースボックス（背面）

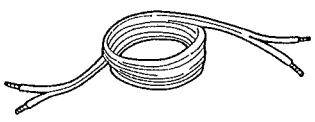


サテライト・スピーカー（前面）



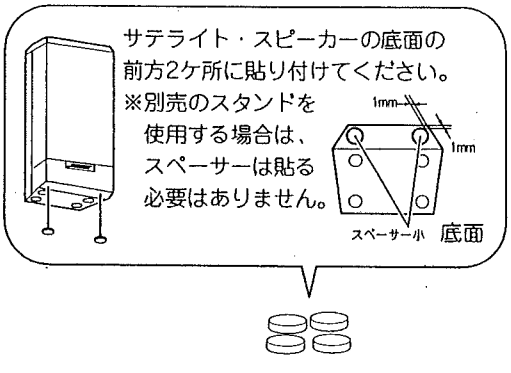
サテライト・スピーカー（背面）

付属品



スピーカー・コード（4.5m×4本）

スペーサー大（4個）



スペーサー小（4個）

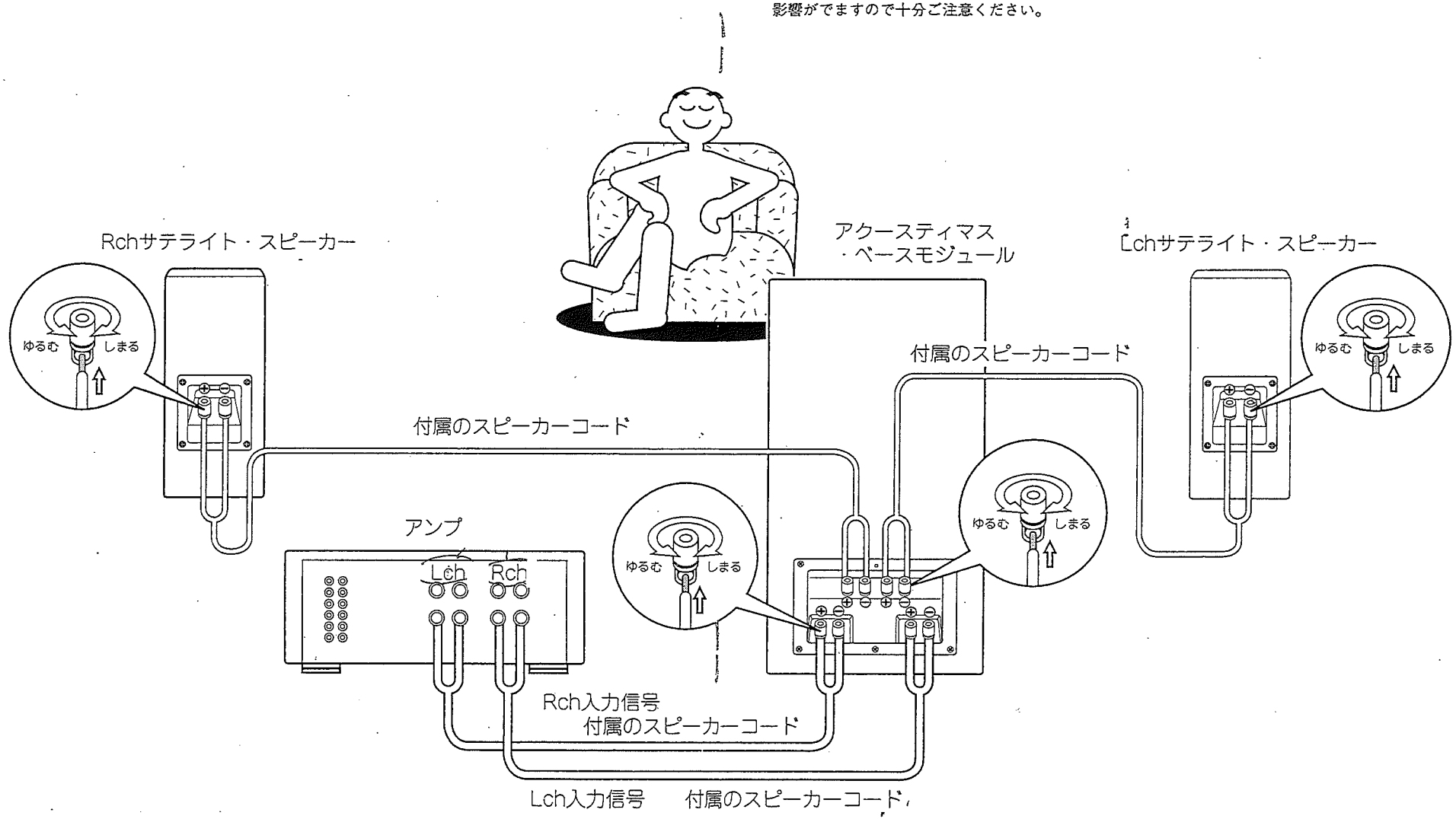
配線のしかた

ご注意

●事故防止のため、アンプなどの電源を外した状態で配線作業を行ってください。

●アンプのスピーカー出力端子からアクースティマス・ベースボックスの入力端子まで、アクースティマス・ベースボックスの出力端子からサテライト・スピーカー入力端子までを、それぞれの極性を確認して接続してください。

●サテライト・スピーカーには左右の区別があります。サテライト・スピーカー背面のスピーカー・ターミナルの下にRch（リスナー側から見て向かって右）、Lch（リスナー側から見て向かって左）の表記があります（各部の名称を参照）。
Lch、Rchの配線および設置を間違えますと、定位がふらついたり、ステレオ効果がうすれるなど、再生音に影響がでますので十分ご注意ください。

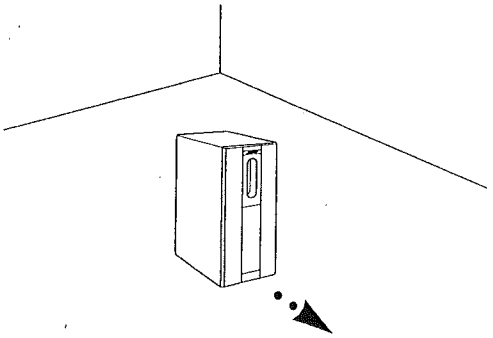


設置および調整

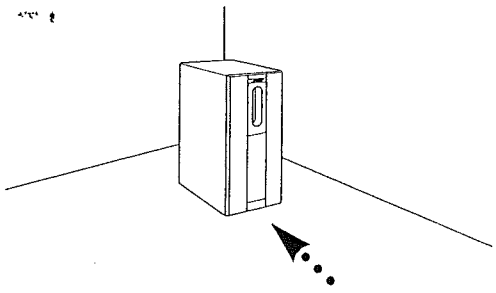
アクースティマス・ベースボックスは、原則として同一音場内であればどこに設置しても音の方向性を感じさせない設計になっています。ただし部屋の構造上の問題で多少方向性が感じられる場合には、ポートの方向やベースボックスの位置を変えて、最良のセッティングポイントを選んでください。

※アクースティマス・ベースボックスは設置場所によって低音のレベルを調整することができます。一般的に、部屋の壁やコーナーに近づけておいた場合に一番効率良く低音が放出され、部屋の中心に近づけるにしたがって、低音を押さえることができます。
※アクースティマス・ベースボックスを横置きに設置すると、ボーカルなどの中域のボリュームを持たせることができる場合があります。

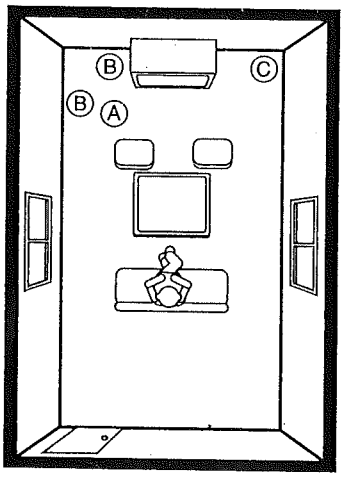
低音が出すぎる場合
壁やコーナーから離していきます



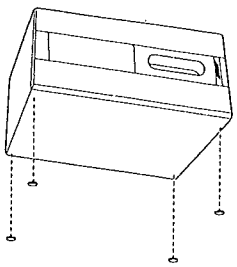
低音の量感を出したい場合
壁やコーナーに近づけていきます

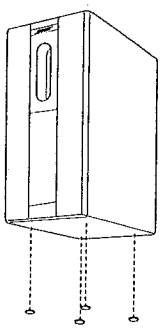


一般に図のようにAよりはB、BよりはCの位置に設置したほうが、低音が豊かに感じられます。このとき、低音のエネルギーはポートから放出されますので、この部分を塞がないよう、壁などから少なくとも5cm以上離してください。



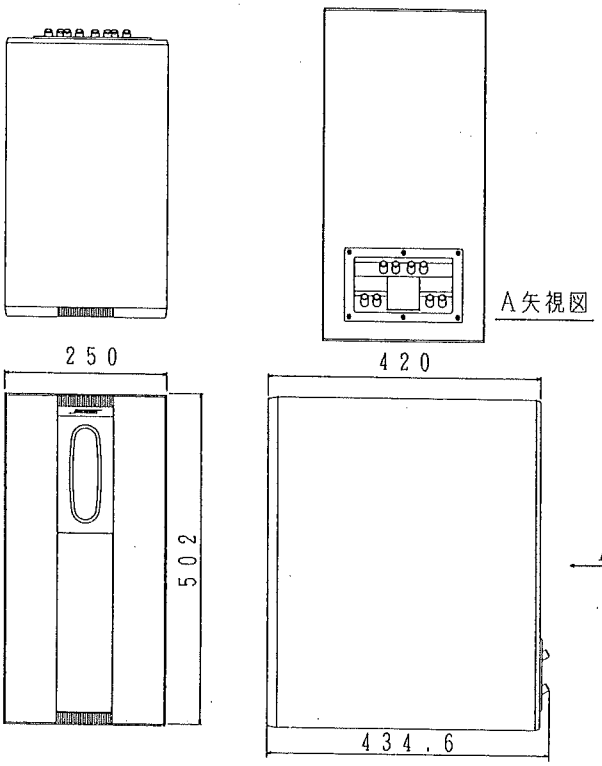
※アクースティマス・ベースボックスを床に設置するときには、共振防止のため付属のスペーサー大を貼り付けてお使いになることをおすすめいたします。



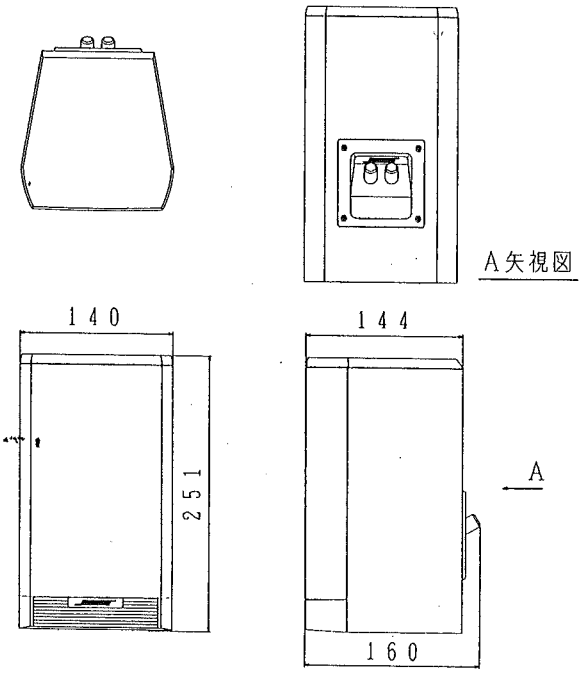


寸法図

505WB-BB



505WB-ST



仕　様

●総　合

方　　式	アクースティマス方式
インピーダンス	6Ω
許 容 入 力	100W(rms:IEC268-5)　270W(Peak)

●サテライト・スピーカー

ユ ニ ッ ト	2.0cmソフトドーム・ツィーター 5.7cmドライバー×2
低磁束漏洩	キャンセリング・マグネット方式
接 続 端 子	デュアルバナナ対応ネジ込み式（金メッキ処理）
サ イ ズ	140（W）×251（H）×160（D）mm

重量：1.8kg

●アクースティマス・ベースボックス

ユ ニ ッ ト	16cmウーファー×2
低磁束漏洩	キャンセリング・マグネット方式
接 続 端 子	デュアルバナナ対応ネジ込み式（金メッキ処理）
サ イ ズ	250（W）×502（H）×434.6（D）mm
重　　量	16.5kg

保　証

通常の使用において発生した故障に対しては、ご購入時より1年間の保証をさせていただきます。本機を分解したり、改造を行ないますと、期間中でも保証が受けられなくなりますので、ご注意ください。

BOSE®
Better sound through research®

ボーズ株式会社

〒150　東京都渋谷区円山町28-3　渋谷ＹＴビル　ＴＥＬ03-5489-0955

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

OM-1056
95・11-0.6K-A・1(I-M)